



木材の運搬と棺木づくり ハサンベツ里山作業日

令和3年度第1回目のハサンベツ里山作業が5月9日、ハサンベツ里山地区で行われました。町民や北海道介護福祉学校の学生など約40人が参加。参加者は倒木や枯れ枝を拾い集め、細い枝は粉碎、太い枝は薪用に保存するなど、仕分け作業を行いました。また、シイタケの苗床となる棺木づくりも行われ、丸太に穴を開けた後、菌床を金づちで埋め込みました。



暴風雪の爪痕をきれいに 建設協会がハサンベツの倒木撤去

ハサンベツ里山で4月30日、栗山建設協会の会員7人がボランティアの一環で、倒木の撤去を行いました。ハサンベツ里山では令和2年11月の暴風雪により、柳や松など100本以上の倒木が発生。川の上流では大きな木が多数倒れていて、道路をふさいでいました。撤去作業ではチェーンソーで倒木を切断し、大型重機で道路の脇に寄せ、細かい枝を手作業で拾い集めました。



建設協会・建設会社が奉仕活動 小学校のグラウンドを整備

栗山建設協会、井沢建設株式会社、共立道路株式会社がボランティアの一環で、町内小学校のグラウンドを整備しました。6月に予定されている運動会のために実施。陸上競技用コースはタイヤショベルなどの重機で土をならし、手作業で雑草を取り除きました。また、野球場や砂場には新たに土を運んだ後、シャベルやロードローラーを使って整地しました。

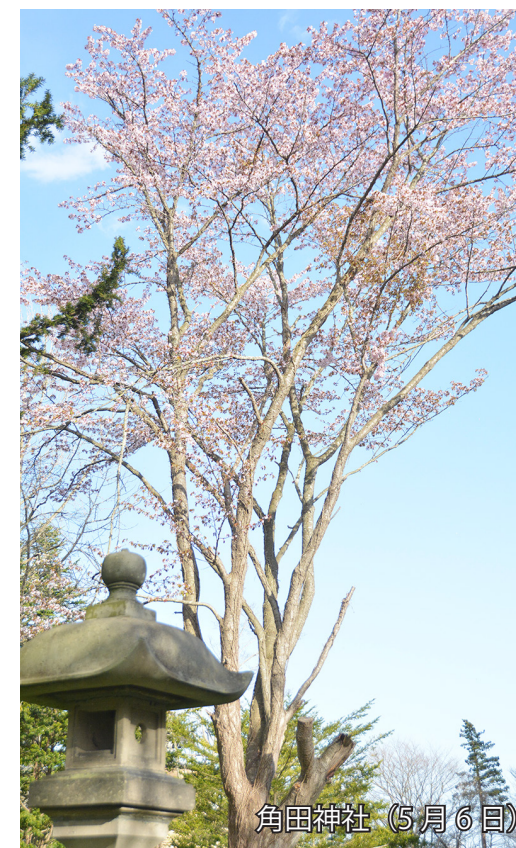


地域の見守り事業も紹介 郵便創業150年記念切手を寄贈

北海道地方郵便局長会南空知地区会が5月11日、記念切手を町に寄贈しました。日本郵政グループが毎年、切手趣味週間に合わせて発行しているもので、今年は郵便事業創業150年を記念して、郵便がテーマの日本画を題材にしています。また、終活に関する専用のコールセンターを設置し、相談者のお悩み解決をサポートする事業「生活相談ダイヤル」が紹介されました。



町内各所で桜が開花



角田神社 (5月6日)



栗山公園 (5月1日)



御園神社 (5月6日)



ハサンベツ里山 (5月9日)



役場 (5月6日)